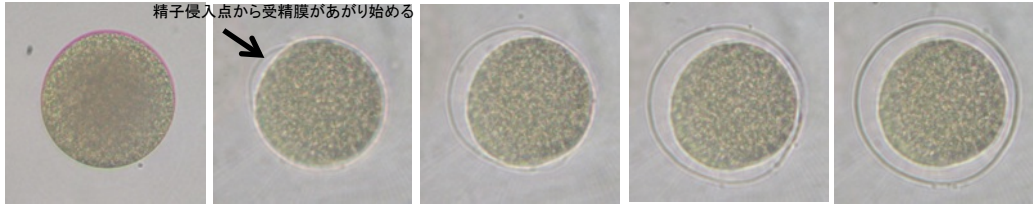


海産バイオリソース(ウニなど)の提供のご案内

当センターでは、ウニを中心に海産バイオリソースの提供を行っています。
これらを利用して、ウニを用いた発生学の実習を行ってみませんか？



未受精卵から受精卵へ(1分間の変化)

当センターでは、以下の物がバイオリソースとして提供可能です！

- 1.採卵・採精可能なウニ成体
- 2.未受精卵と精子
- 3.泳ぎだした胚やエサを食べ始めた幼生
- 4.発生の進んだ幼生や変態後の稚ウニ
- 5.胞胚期以降の各発生段階の固定標本
- 6.遺伝子発現観察用のin situ hybridization標本

これらを利用していくつもの実習が可能です！！

例えば、180分授業(90分x2コマ)を1回実施する場合、

Case 1. ウニの採卵・採精の様子や受精を観察したい！

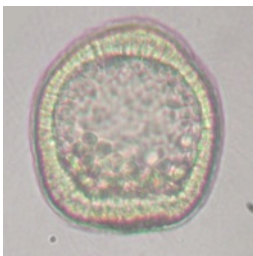
→『1. **ウニ成体**』を申込へ

Case 2. ウニの扱いになれてないが受精を観察したい！

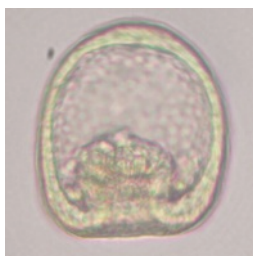
→『2. **未受精卵と精子**』を申込へ

Case 3. 受精から稚ウニまでウニの発生を一通り観察したい！

→『2. **未受精卵と精子**』、『3. **泳ぎだした胚やエサを食べ始めた幼生**』、
『4. **発生の進んだ幼生や変態後の稚ウニ**』を申込へ



間充織胞胚



原腸胚



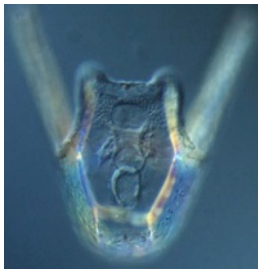
プルテウス幼生

180分授業(90分x2コマ)を2回実施する場合、

Case 4. 受精から稚ウニまで、実習時間をフル活用してウニの生活史を観察したい！
→1回目で『1. ウニ成体』を申込み、2回目で『3.泳ぎだした胚やエサを食べ始めた幼生』、『4.発生の進んだ幼生や変態後の稚ウニ』を申込へ

Case 5. ウニの初期発生と、形態形成過程における遺伝子の発現パターンを観察したい！

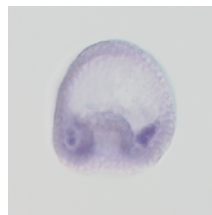
→1回目で『2. 未受精卵と精子』を申込み、2回目で『3.泳ぎだした胚やエサを食べ始めた幼生』と『6.遺伝子発現観察用のin situ hybridization 標本』を申込へ



プルテウス幼生



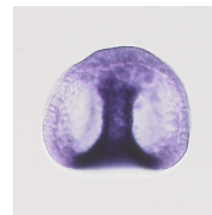
稚ウニ



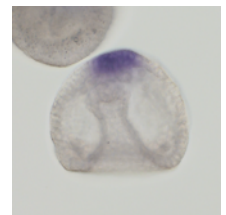
Hpalx1



Hpgcm



Hpendo16



HpfoxQ2

90分授業で実施する場合

Case 6. 講義で、固定標本を利用して胚や幼生の形態観察をしたい！

→『5.胞胚期以降の各発生段階の固定標本』と『6.遺伝子発現観察用のin situ hybridization標本』を申込へ

これらの例を参考に、実習内容に合わせて、好きな組み合わせを選ぶことが可能です。利用直前に送付すれば、水槽設備などの飼育環境がなくても問題ありません！実習プランや申込の相談など、随時受け付けております。

また、提供品の利用方法など、事前研修も随時受け付けております。

さらに、本事業における提供品は、卒業研究や大学院生の研究材料としてもうってつけです！！

ウニの種類、時期や量は相談になりますが、研究プランに合わせて、年間を通して提供いたします。

下記連絡先まで、お気軽にご相談ください。

問合せ先:お茶の水女子大学 湾岸生物教育研究センター

TEL:0470-29-0838 e-mail: kiyomoto.masato@ocha.ac.jp

HP: <http://marine.bio.ocha.ac.jp/>